

教育単位	教育内容	教育領域の学修内容
	<p>とりあげられる看護技術</p> <p>3. 心理・社会的基本ニーズに関する看護技術</p> <p>1) 日常生活過程にかかわる予防・緩和に関する看護技術</p> <p>(1) 苦痛予防</p> <p>・妊産婦のリラクゼーショントレーニング</p> <p>(2) 産痛緩和</p> <p>・産婦に適した用品の選択</p> <p>・産婦：呼吸法・補助動作・入浴・足浴・指圧マッサージ・温罨法</p> <p>・環境整備：アロマ・音楽・色</p> <p>2) 自己の身体像の変化への対処</p> <p>3) 家族の役割機能の変化への対処に関する看護技術（出産による）</p> <p>(1) 生活環境の変化への対処</p> <p>(2) 役割変化への対処</p> <p>(3) 家族機能変化への対処</p> <p>4. 環境適応と自立支援に関する看護技術</p> <p>1) 入退院に関する看護技術</p> <p>2) 教育・指導に関する看護技術</p> <p>(1) 指導内容に応じた教育技法</p> <p>(2) 対象に応じた教育技法</p> <p>・妊産期の保健指導：妊婦指導・出産準備教育</p>	<p>① 妊産褥期における苦痛・産痛の予防および緩和について理解し、その援助方法がわかる。</p> <p>① 周産期および新生児期における指導・教育・相談の意義と内容、技法がわかる。</p>

教育単位	教育内容	領域面の学修内容
VII. 健康逸脱の看護	<p>とりあげられる看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期の保健指導：育児指導・授乳指導・褥婦指導 <p>1. 診断・治療過程に関する看護技術</p> <p>1) 検査・検体採取に関する看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 検体採取 (2) 穿刺時の介助：羊水穿刺 (3) 検査時の介助：超音波検査・不妊検査・分娩監視装置 <p>2) 診察に関する看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産褥婦：腹部触診・内診 ・新生児：身体各部系統別診察・神経学的診察 <p>3) 与薬と管理に関する看護技術</p> <p>4) 処置に関する看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併症をもつ妊産褥婦への処置 <p>2. 身体・心理・社会的課題への安全・安寧に関する看護技術</p> <p>1) 身体的課題への対処に関する看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 防衛機能の障害による症状への対処 <ul style="list-style-type: none"> ・ STD、HIV/AIDS、垂直感染 (2) リプロダクティブ障害による症状への対処 <ul style="list-style-type: none"> ・ 性・生殖機能の障害への対処 (3) 妊娠・分娩・産褥の異常・合併症に対する対処 	<p>①母性各期・新生児期におきる健康障害（妊娠・分娩・産褥期および新生児期の異常および合併症、性・生殖器の健康障害）について理解する。</p> <p>②母性各期・新生児期の健康障害が性・生殖に係わる発達課題に及ぼす影響がわかる。</p> <p>③健康障害における心身の苦痛・症状緩和や安楽のための対処方法がわかる。</p> <p>④診察・検査・処置の目的・方法・必要性を理解し介助方法がわかる。</p> <p>⑤母性に用いられる薬物の作用・副作用について理解し、与薬方法がわかる。</p> <p>⑥入院生活への適応および援助方法がわかる。</p> <p>⑦周産期における救急処置を要する状況及び必要物品・器具がわかる。</p> <p>⑧救急処置時の介助方法がわかる。</p> <p>⑨こどもの病気・障害・死に直面している母親および家族の心理過程・行動・ニーズを理解しその援助方法がわかる。</p>

教育単位	教育内容	領域面の学修内容
Ⅷ. 母性看護学 理	とりあげられる看護技術 ・長期安静：多胎、中毒症・流早産 ・心身に障害をもつ妊産褥婦 2) 心理・社会的課題への対処に関する看護技術 (1) 自己知覚障害への対処 (2) 性的指向 3) 人の死の過程に係わる看護技術 (1) 死と死後の遺体への対応 ・胎児・新生児の死の徴候・観察 ・児と家族のお別れの環境づくり ・児の死後の処置 3. 危機的状況への対処に関する看護技術 1) 身体的危機への対処に関する看護技術 ・突然の腹痛・大出血・羊水栓塞・DIC、ショック 2) 心理・社会的危機への対処 (1) 病名告知の過程への対処 ・胎児死亡・新生児仮死・先天異常児・分娩障害児 ・不妊症 (2) 死・別離への対処 1. 予防・危険からの防護に関する看護技術 ・感染予防：STD,HB,HIV/AIDS 2. 自己・災害への対処に関する看護技術	①性・生殖における感染症とその対策について理解し援助方法がわかる。 ②性・生殖における感染症からの自己防衛の必要性と対処方法がわかる。 ③児の取違い・誘拐等が家族・社会へ及ぼす影響を理解しその管理方法がわかる。

教育単位	教育内容	
	教育技術	領域の学修内容
	<p>とりあげる看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児の取り扱い・誘拐 ・配偶子の取り扱い <p>3. 社会資源・社会支援システムの活用に関する看護技術</p>	<p>④母子に関する行政・地域サービスおよびネットワークの活用方法がわかる。</p> <p>⑤健康障害・先天性疾患の療育に関する保健医療福祉教育のサービスと連携機能がある。</p>

在宅・地域看護学：認知領域面の教育基準—教育単位と教育内容

No.1

教育単位		教育内容	
		認知領域面の学修内容	内容
<p><教育単位構築の意図> 在宅・地域看護学は、地域で生活する人々の健康の維持増進と健康障害をもつ人々の療養支援、生活を支えることを目的とする。在宅・地域看護学は、在宅看護学と地域看護学からなり、相互に関連していることから一体的科目として7つの教育単位を構成した。「地域看護概論」で教授する在宅・地域看護の基本概念、知識に基づき、地域看護における独自の看護技術として、「地域看護過程」「地域における個人・家族への援助」「地域における集団への援助」「地域ケアシステム」を構成した。「地域看護の援助技術」は、対象別健康管理であり、他の看護学領域との関連が強く、地域看護で特に強調して教授する必要がある内容を取り上げている。また、「在宅看護」は、他の領域で学習している技術を基礎として在宅という場の違いを考慮した看護実践ができる技術として構成している。 ＊3年課程で教授する教育内容であり、看護師・保健師の統合教育ではすべてを教授</p>			
I. 地域看護概論	と り あ げ る 看 護 技 術	<p>《該当看護技術なし》</p>	<p>＊地域看護の概念・・・地域看護の目的、地域看護の対象、活動の場 ＊地域看護の変遷 ＊地域看護の基本理念 1. 生活者への支援・・・生活環境と健康 2. ヘルスプロモーション 3. 住民・対象の主体化・・・ニーズの顕在化、エンパワーメント、住民参加 4. 予防的視点からのアプローチ・・・将来の問題の予測、個別・集団・地域への援助 5. コーディネーション・・・活動への協働参画、関係機関・住民組織の調整、協働活動の展開 地域看護管理・・・リスクマネジメント・・・感染症・災害時の地域管理体制 国際地域看護・・・国際地域看護の意義と必要性、諸外国の地域看護活動</p>
II. 地域看護過程	<p>地域看護診断の技術 情報の収集とアセスメント 地域看護活動計画の立案 地域看護活動の展開 地域看護活動の評価</p>	<p>地域看護診断の理論 社会診断・疫学診断の方法 地域看護診断の方法 情報の収集・・・健康指標の種類、その把握方法 地域情報（住民の保健行動、環境、社会資源）の把握 保健活動の情報把握</p>	

教育内容		教育内容	
教育単位	とりあげられる看護技術	認知領域	学修内容
III. 地域看護における個人・家族への援助	<p>* 家庭訪問</p> <p>援助技術：問題解決過程への援助 力量形成への援助 対象の主体化への援助</p> <p>在宅でのカウンセリング技術 在宅での看護技術 家族への支援・指導技術 社会資源の活用方法 住居・生活環境の調整</p>	<p>アセスメント・住民の保健行動、社会資源の整備・提供状況、生活環境の分析 地域の健康問題の明確化、健康問題の優先順位、実践課題の設定 地域看護活動計画の立案・・・長期・短期目標、計画の立案・目標設定、計画の評価 計画</p> <p>地域看護活動の展開・・・予算化、事業の企画・調整、事業化・施策化への発展 地域看護活動の評価・・・評価の概念、評価方法（量的評価・質的評価） 地域保健行政、政策・・・地域保健計画、保健計画立案、評価</p>	<p>地域看護における個人・家族への支援の意義と目的、方法 生活と健康の関連、保健行動、保健行動理論 家族の概念、システム理論、援助方法 * 個人・家族への援助における看護過程の展開と位置づけ 優先順位、情報収集、アセスメント（ケース診断・家族診断・環境診断） 援助計画の立案、援助実践と評価</p> <p>* 家庭訪問 意義・目的、対象、方法、優先順位の決定 問題解決過程への援助（力量形成への援助）、対象の主体化への援助 在宅での看護技術、家族への支援・指導・指導、社会資源の活用 住居・生活環境の調整</p>
IV. 地域看護における集団への援助	<p>保健指導・カウンセリング技術</p> <p>* 集団健診・健康管理 健診の企画運営 問診・健康歴の収集技術 保健指導技術（対象別）</p>	<p>* 保健指導・相談・面接・・・カウンセリングの理論と方法</p> <p>地域における集団への援助の位置づけ 学習過程の理論と展開方法 * 集団健診 健診の種類と意義・目的、方法、法的根拠 保健指導、健康管理、事後指導の展開 健診結果の管理・評価方法</p>	<p>* 保健指導・相談・面接・・・カウンセリングの理論と方法</p> <p>地域における集団への援助の位置づけ 学習過程の理論と展開方法 * 集団健診 健診の種類と意義・目的、方法、法的根拠 保健指導、健康管理、事後指導の展開 健診結果の管理・評価方法</p>

教育単位	教育内容		学修内容
	とりにあがる看護技術	認知領域	
V. 地域ケアシステム	<p>*健康教育 健康教室などの企画 運営・展開技術 グループワーク 教材の開発と活用</p>	<p>*健康教育 健康教室、つどい、学習会などの企画 運営・展開・評価 グループワークの理論と方法 教材の開発と活用方法</p>	<p>グループ支援におけるエンパワメント(個人・組織・地域)の理論と方法 セルフヘルプグループへの支援の理論と方法 組織化活動におけるネットワーク組織化の方法 地域組織活動の実践</p>
	<p>コーデイネーション技術</p>	<p>地域ケアシステム形成 チームアプローチ 連携システム ケアシステム コーデイネーション 調整会議(調整会議の企画・運営)</p>	
VI. 地域看護の援助技術	<p>ライフステージ別 1) 小児・母性保健における看護技術 2) 成人保健における看護技術</p>	<p>・妊産婦の保健指導、乳幼児育児指導、思春期保健指導 子育て支援、障害児への援助、乳幼児虐待への援助 (前提) 妊娠・出産の経過、母体保護、母子保健、子供の成長発達、マザーリング、様々な状況にある子供と家族への看護、育児機能の変化、思春期の特徴、発達・発育診断</p> <p>・生活習慣病とその予防、セルフケアの理論と看護、生活習慣病の保健指導、健康増進への援助 (前提) ライフスタイルの変化、生活習慣の確立、健康と環境</p>	

教育単位	教 育 内 容	認 知 領 域 面 の 学 修 内 容
	<p>と っ り あ げ る 看 護 技 術</p> <p>3) 老年保健における看護技術</p> <p>健康障害別</p> <p>1) 感染症保健における看護技術</p> <p>2) 歯科保健における看護技術</p> <p>3) 難病保健における看護技術</p> <p>4) 精神保健における看護技術</p> <p>活動場所別</p> <p>1) 学校保健</p> <p>2) 産業保健</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護高齢者、痴呆性老人への援助、介護機能の変化、介護負担、高齢者虐待 社会資源・介護用品・補助器具の種類と活用 寝たきりの原因とその予防、介護予防への援助 (前提) 高齢者の心身の特徴、介護保険法と施策、痴呆性老人の病態・行動 ・ 感染症・エイズ・結核の病態とその予防、治療、保健指導、管理 ・ 生涯を通じた歯の健康保持方法、疾病予防 (前提) 歯の機能 ・ 難病患者の看護、ターミナルケア、難病患者への指導、療養支援 ・ 社会復帰への支援、社会生活技能訓練 (前提) 精神疾患の病態と看護、看護で活用する技法治療的アプローチ ・ 学童の健康増進のための看護、子供の生活習慣病、思春期の子供と健康 学童・生徒の健康管理、生活習慣病の予防、学校保健計画、保健室の経営 ・ 職業に関連する健康障害、労働者の健康管理、職場環境のアセスメントと管理 健康被害の把握・対処
VII. 在宅看護	<p>*在宅看護過程の展開技術</p> <p>*ケアマネジメント技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> *在宅看護概論 <ul style="list-style-type: none"> 在宅看護の目的、対象、活動の場（訪問看護ステーション）、訪問看護 在宅療養者と生活、家族の理解、疾病・障害と在宅療養 *在宅看護過程の展開の理論と方法 <ul style="list-style-type: none"> 療養者、家族への看護過程の展開 ヘルスアセスメント、心理・社会的アセスメント 在宅療養移行時の支援・継続看護の方法 *在宅ケアシステムの理論と方法 <ul style="list-style-type: none"> ケアマネジメント・ケースマネジメントと介護保険、社会資源の調整 関係機関・関係者の調整、チームアプローチ

教育単位	教育内容		学修内容
	とありあがる看護技術	認知領域	
	<p>*在宅看護技術 療養者、家族への支援技術 心理・社会的支援技術</p> <p>*日常生活援助 栄養管理と食事援助技術 活動と移動への援助技術 清潔、排泄への援助技術 住居・生活環境の整備</p> <p>*治療・医療的援助技術 在宅酸素療法、人工呼吸器管理 経管栄養、IVH、人工透析 膀胱留置カテーテル、ストマケア 褥瘡、服薬管理、静脈注射 リハビリテーション 感染予防、医療事故防止</p>	<p>*在宅看護技術の基本・・・療養者、家族への支援、心理・社会的支援（生きがい、交流などQOL） 在宅ターミナルケア・ホスピスケア</p> <p>*在宅看護の日常生活援助の基本 栄養と食事、活動と移動、清潔、排泄への援助方法 住居・生活環境の整備</p> <p>*在宅における治療・医療的援助方法・・・疾患の理解を含む 呼吸、循環（在宅酸素療法、人工呼吸器） 栄養（経管栄養、IVH） 排泄（人工透析、膀胱留置カテーテル、ストマケア）</p>	